

緑地雑草科学講演会のご案内

芝生の世界—その基礎から利用まで—

講師：長沼和夫氏（ソイシアンジャパン(株)研究開発室長）

日時：2017年3月28日（火）15時～16時30分

場所：兵庫県民会館 福の間

（神戸市中央子下山手通4-16-3, TEL: 078-321-2131）

アクセス：新神戸駅・三宮駅からは地下鉄で「県庁前」下車，東出口1

参加費：無料

“芝生”は緑化関係者にも生活者にも最も身近で、欠かせない植物です。しかし、私たちは大抵“芝生”と総称して満足し、これが特徴ある機能と歴史をもった種・品種の集まりだということをお忘れがちです。芝生は40種ぐらいの植物の総称ですが、7千から1万種類のイネ科の中からその土地に適したものが選ばれて使われており、日本では十数種類ぐらいが流通しています。これらは東北や北海道で使われる寒地型芝生と、本州以南で利用される暖地型芝生に利用上分けられています。分類学的にも、生理学的にもそれぞれが特徴付けられることはとても興味深いことです。芝生はどのようにして芝生になったのか？芝生はどのように使われるのか？など、知っているつもりでも知らない“芝生”の世界を、この機会に覗いてみようではありませんか。ご参加をお待ちしています。

講師プロフィール：1984年広島大学大学院理学研究科退学、1987年理学博士(植物学)、民間企業で食用菌類開発、芝新品種の開発などを行い、1999年より現職。



三代豊国作「四季花くらべ・秋の図」
右下に切り芝の束が描かれている。